

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4020	(H.24)No.	4020-1
-----------	------	-----------	--------

事務事業名	一般市道整備事業(維持管理室分)		
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	維持管理室	稲住和久	63-7681
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 年度 ~ 平成 年度		

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	4	総合的な交通対策の推進
	施策	2	道路整備
	小施策	2	市内道路網の整備
重点施策コード			

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	393501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	一般市道整備事業
項	道路橋梁費	(小事業名)
目	道路新設改良費	一般市道整備事業

## 3. 事務事業の概要

事業概要	めざす効果(事業目的)
市内全域から要望のある、地域内生活道路の局部改良や道路側溝等の整備を実施し、既存道路を活用しながら計画的に実施します。	生活道路の整備を進め、快適な道路環境の形成を図ります。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)		現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]		市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	・測量・調査・設計委託(3件) 6,889千円		・測量・調査委託他 1,170千円		補助金・交付金		
	・側溝・歩道整備他工事(36件) 28,162千円		・側溝・路肩整備他工事(21件) 小規模工事 42,000千円		その他 ( )		
直接事業費	35,051千円	43,170千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金						
	県支出金						
	地方債	26,900	38,100	35,000	35,000	35,000	
	その他( )						
一般財源	(0) 8,151	5,070	5,000	5,000	5,000	5,000	
人工数	職員	0.79人	0.79人	0.79人	0.79人	0.79人	
	臨時職員等						
概算人件費	(0千円) 5,767千円	5,767千円	5,767千円	5,767千円	5,767千円	5,767千円	
+ 総事業費	(0千円) 40,818千円	48,937千円	45,767千円	45,767千円	45,767千円	45,767千円	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	市道改良延長	m	-	-	-	620
	実績			527	554	571	921
成果指標	目標	市内の道路整備が進み、移動しやすくなったと感じている市民の割合	%	-	-	-	49.0
	実績			47.5	46.1	45.4	44.4
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
施設が年々老朽化し、部分的な改良箇所が増えてくる。	引き続き、安全な交通環境を確保するため既存道路の改良を進めます。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
今後の人口減少、高齢化社会などにより、地域内の生活道路に対する安全性の向上に関心が高まることが予測される。	厳しい財政状況は理解するが、効果的・効率的な事業促進を望む。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢 ・ の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ある	・地区内道路の整備推進と歩道の確保(蔵持) ・道路や水辺の環境整備(赤目) ・道路拡幅、改良(青蓮寺・百合が丘)
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	要望箇所については今後地元自治会等と調整を行い検討していく。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

継続(現行)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

施設が老朽化し、部分的な改良箇所が年々増えており、継続して実施する必要があります。

特記事項